

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回宍粟市地域公共交通会議（令和元年度）	
開 催 日 時	令和元年6月14日（金） 14時00分～	
開 催 場 所	宍粟市役所 4階 402.403 会議室	
委員長・会長 氏名	会長（副市長）中村 司	
委 員 氏 名	（出席者）別紙のとおり	（欠席者）別紙のとおり
事 務 局 氏 名	まちづくり推進部 津村部長 市民協働課 小河課長、福田係長、小倉主査 一宮市民局まちづくり推進課 菟場主査 波賀市民局まちづくり推進課 山下主事 千種市民局まちづくり推進課 中井主査 健康福祉部障害福祉課 平瀬主査	
傍 聴 人 数	1人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	公開	（非公開の理由） —
決 定 事 項	（協議事項） 1. 令和2年度フィーダー系統確保維持計画（案） ⇒承認	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認 （記名押印）	（委員長等） 会 長 中 村 司	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局 会 長 事務局	1. 開会 2. あいさつ 3. 委嘱状の交付 4. 宍粟市地域公共交通会議委員の紹介 5. 宍粟市地域公共交通会議の趣旨説明 6. 宍粟市地域公共交通会議副会長の選任
会 長	7. 報告 報告事項について(1)から(3)まで一括して事務局から説明を。
事務局	(1)「路線バス運行開始 100 周年次世代につなぐ路線バス」事業について (2)体験乗車推進事業の実施について (3)路線見直しの概要及び路線(小型)バスの利用実績について
会 長 委 員	何かご意見等はないか。 報告(1)のラッピングバスの反響について運転手に確認すると、沿道の親子連れや高齢者からも手を振っていただく光景が見られる。車内では選ばれた作品に関する話題で会話がはずむ光景なども見受けられる。我が町のバスという意識で公共交通を理解いただき、愛されるバス、親しまれるバスとして運行していきたい。
会 長 委 員 委 員	運行の時間帯は変更していないか。 基本的にはこの時間帯だが、通学の関係でバスを差し替えることがある。 大学からアンケートが届き、中にエーガイヤで乗り継ぐチラシが同封されていたので興味を持った人がバスに乗って行ってみた。待ち時間はあるがエーガイヤで食事をすればいいと考えていたが行ってみるとエーガイヤが休業していた。利用するためには待ち時間の過ごし方を考えていただきたい。また、利用された方は初めて国道 29 号線側を使って千種へ行くために不安があり、運転手さんに確認したかったが話を聞かずに、座っておくように不親切に注意された。いつも利用する小型バスの運転手さんは声をかけてくれて親切だが、大型バスには違った印象を受けたと聞いた。
委 員	乗務員のことでご指摘をいただいた。ご利用様のお気持ちになって乗務に努めるよう心掛ける。申し訳ございませんでした。
事務局	アンケートについては、宍粟市の公共交通が全国的に注目されているということで興味を持っていただいた摂南大学からのもので、学生が自分で考えたプランを同封している。市にもいただき、良いプランだと参考にさせていただいた矢先にエーガイヤのレストランが休止となった。その影響なのか、小型バスの鷹巣線も利用が減少している。地域の方が誘い合ってバスを利用していたこともあり、バス利用の点からもエーガイヤの休業は悪影響を及ぼしている。エーガイヤのような場所があつてこそ、バスの利用に繋がると感じている。
事務局	ご近所、お知り合いの方へ事情を伝えていただきたい。3月 25 日からコックさんの都合で料理部門のみ休業している。地域の方を始め、観光客も困っている。現在、募集もしている。見つかり次第、オープンされると思う。
委 員	今回、バス停を新設してもらったが山の中の急な道のため、冬季は運休する。

	<p>しかし、一宮町千町では急な道でもバスは運行している。冬季も運行しているのか。</p>
委員 会長 事務局	<p>千町線は冬季も運行している。降雪時等は安全最優先で運行している。路線を決定したときに何か検討したのか。</p> <p>安全に運行できるかどうかはバス運行事業者の判断になる。地域として運行を要望される場合は伝えていくが安全が確保できなければ運行は難しいと理解している。</p>
委員	<p>葛沢線を利用している。病院へ行くのが土曜日の人や、日曜日もバスを使いたいと思う人もいる。しかし、土日に運行してもらっても乗らなければ悲劇となる。曜日指定の運行路線から見ると虫のいい話になるかもしれないが何とかお願いできるのであれば土日も運行してほしいと思う。</p>
事務局	<p>土日運行については路線再編当初から、できれば家族に協力いただきたいとの考えでスタートしている。一方では土日運行を希望する声があるのも事実である。また観光で利用される方からの希望も聞いている。ただ、現状としては運転手の確保の問題やバスの台数にも限りがある。お願いはしているが現実的には人や物の問題があり難しい。今後、バスをどう残していくかという話の中で議論していくしかない。</p>
委員	<p>当初、土日の試行運転を実施していないか。試行運転したが全く乗客がなかったような記憶が残っている。土日は家族や近所の方で対応でき、走る価値がないという結果を出したように記憶している。</p>
事務局	<p>再編時に調査しているかもしれないので確認する。</p>
委員	<p>長年の予約運行から、ようやく定期運行が定着してきた。土日は無理ではないかと思う。初めは若干の利用者があっても、徐々になくなると思う。</p>
委員	<p>現状では申し訳ないくらい皆さん利用されていない。しかし、高齢者が関係する事故のニュースを毎日毎日見ると、免許証を返さなくてはいけない時期が迫っていると思う。これからはバスがとても大事になると思う。バスは続けてほしいと思う。</p>
会長	<p>働き方改革が始まり、運行事業者も人手不足が大きく影響してくるような時代になっている。交代や台数を増やして対応するなど可能な方法で続けていけるようにしたい。</p>
委員	<p>路線によって土日の運行を変える訳にいかない。トータルで考えると難しい。</p>
委員	<p>地域性は大事である。人口が多ければ乗る人も多い。その辺を見極めてもらいたい。全員同じようにするのは無理だと思う。地域に合ったやり方でいいのではないかと思う。</p>
事務局	<p>路線によって利用状況も異なっている。4月から再編の路線もあるので利用実績等を注視し検討していきたいと思う。</p>
事務局	<p>人口と利用者数をどのように考えていったらいいか。考え方などはあるものなのか。</p>
委員	<p>勿論、人口が多い地域では利用者数が多い傾向にはある。若干、地域性もあるので人がいても乗っていない地域もある。これから運行を開始する話ではなく、すでに運行している話なので実績というデータがある。それを基に判断せざるを得ない。葛沢線はかなり利用があるので仮に試行するとしたらこのあた</p>

	りに限定的に試行することはあり得る。逆に利用者 0 人の路線があるが、1 月ではなく、年単位でもチェックする。交通空白地を無くすという高い理念は素晴らしいがやった実績を見た上でそれほど乗っていない路線は切っていくこともある程度は仕方ない。
事務局	利用の少ない路線は啓発も考えながら、それでも乗っていただけない場合はどうするのかということ相談させていただきたい。
副会長	エーガイヤに行きたいが昼食もないという話がでていたが、バスは目的があって乗るもの。千種・波賀・三方で JA の A コープが閉店した中に行く目的が少ない。そんな中で乗れと言ってもどこへ行くのかという話になる。この会議が協議の場ではないがエーガイヤのレストランを早く再開していただくなどを検討いただかないと、北部の利用は増えないと思う。
事務局	今回の再編に関する広報の特集でも記載しているが、安栗市北部の買い物事情もあるが商店の近くにバス停を新設したり、乗り継ぎポイントを増設し時間を短縮したり、利便性の向上につながるようにしている。今後もしっかりと説明していきたい。
事務局	再編して 2 月のデータとなっている。できるだけ利便性の高いものになるように再編した。経過をみて次の手を考えていきたいと思う。またご意見をいただきたい。
会 長	8. 議事
事務局	(1) 令和 2 年度フィーダー系統確保維持計画（案）について、事務局から説明。
会 長	(1) 令和 2 年度フィーダー系統確保維持計画（案）について
委 員	何かご意見等はないか。
事務局	全部で 4 路線+20 路線ある中で今回の計画の対象は 13 路線だが、一部を対象にしたということか。
会 長	補助要件に当てはまる路線が 24 路線のうち 13 路線となる。
事務局	財源を確保するための補助計画を出させていただく。計画を提出させていただくことにご承認いただけるか。
委 員	承認する。
会 長	若干の修正が入る場合は事務局に一任することをお願いしたい。
会 長	9. その他
委 員	何かご意見等はないか。
事務局	大谷線の下町 6 ー上牧谷 1 の間について、雪は仕方ないが現在、道路の両サイドから枝葉が茂ってきている。何とか建設部に相談させていただきたい。道幅が狭くなり、雨の日に困る。
事務局	調整する。
委 員	上牧谷から特別養護老人ホームありがとうへ入る路線変更箇所について、橋の欄干をカットして入りやすくなっているが、突然の工事や農業関係の車の路上駐車があり大変困っている。バス運行時間には止めないようにしてもらおうか、旧路線に戻すかしないとバス利用者が困っている。
事務局	自治会と調整する。
会 長	ご要望にお応えしようと変更をしたことによって色々と課題も出てきていることもある。徐々に良くなってきているということでご理解いただきたい。他にご意見はないか。

委員	職員には地域の方に支えていただいていることを伝え、次回の交通会議では運転手さんが良くなったんじゃないかと言っただけのよう努めるのでこれからもよろしくお願ひしたい。
委員	蔦沢線のバスは親切でよく声もかけていただいているし、大丈夫。安全確保も大事。
事務局	4月からフリー降車が始まり、フリー乗車も検討いただけないかという意見を議会の他、色々なところでいただいている。運行事業者の皆さんや警察交通課長よりご意見をいただきたい。部分的な導入や可能性のところをお伺ひしたい。
委員	安全面を含めて、できることからというところでフリー降車を実施した。フリー乗車は安全面を考えるとすぐに実施とはならない。今後も検討はしていこうとは思いますが運用面等で色々問題があると思う。
会長	降車は安全確保できるが、乗車は急に止まることが難しい。手を挙げられても、それが乗車の意味かどうか分からない。
委員	ルールも必要になると思う。
委員	国道29号は無理だと思う。地域に入ると交通量も少なくなりフリー降車を喜んでいる。乗る方はバス停で待つのでいいのではないか。
委員	運転手が急ブレーキを踏んでしまえば、乗客もケガをするし、雨や雪の日は大事故に繋がる。フリー乗車は無理だと思う。
委員	それでいいと思う。降車はよくわかった上で早めに場所を伝えることができる。
委員	前回の会議の中で、住民の方の意見として市役所の職員がもっとバスを使っただけでどうかと出たが何か取り組まれたか。
事務局	庁内の掲示板による働きかけや、1日乗車券の取り組みについても職員を含めて地元の中でPR活動に努めていきたい。
会長	働き方改革もあり、ノー残業デーを作っただけでいきなり定時退庁で職員を挙げて乗車に取り組んでいけばいい。飲み会でもあればバスを利用しているようだ。
委員	待ち時間に何かできることを考えていただきたい。
事務局	副会長も言われたように、バスに乗る目的や使い方のイメージをすることが大事だと思う。しそチャンネルで利用方法や、1日乗車券をご利用いただいた体験談などの紹介を試みようと思っている。
委員	宍粟市消費者協会で波賀町へブルーベリー狩りに行く計画をしているが、公共交通を利用した計画にしようと思う。
事務局	ぜひ、取材をさせていただきたい。
委員	3年前の再編を拝見し、非常に理想が高く、素晴らしい点がある。国土交通大臣表彰を受賞され、良い理念で実施されている。公共交通は、採算性が大事だがそれだけではなく自治体が自らの計画をしっかりと立て事業者任せにしないということも大切なことかと思う。そういうことをしっかりとやっているのだから素晴らしい面もあるが、ただちょっとやりすぎなところもある。これほど採算性が見込めない。乗車が見込めないところまで、ここまでやるのはいかなものか。実験的に1年ないし、3年たった段階で見直しをするということだったので、見直しをするのであれば、やってみるのもいいのではないかとみていた。再編はされたが抜本的な見直し、つまり廃止を含めた見直しはされておら

ず、今後はそのあたりが課題になってくるのではないか。せっかく交通空白地を無くしたのにまた作ってしまうのかという難しい問題もあるが、やはり3年間の実績は重要であり、やってみた上で改善したことになる。基本的には公共交通を残したいと考えているが、それでもそうはいかないケースもある。納税者の立場も考える必要がでてくる。以上が感想です。

10. 閉会